



光度および放射束の規格改訂のお知らせ
(対象：52 品種)

このたび砲弾型ランプを始めとする発売開始時期の古い 52 品種につきまして、現在の国家標準校正値と整合した新規格値へと変更することと致しましたので、ユーザーの皆様にお知らせをさせていただきます(2009 年 1 月出荷分より変更)。

該当品種ご利用のお客様には新・旧両規格の値を併記した新しい仕様書を提出させていただきますので、詳細数値につきましては各製品の仕様書にてご確認をお願い致します。

LED の測光方法については、製品の形態、配光特性、分光分布などが、従来の光源と大幅に異なることから、これまで国際的な整合が十分にとれておらず測定の確からしさが問題となっていました。しかし昨年 2007 年になって LED の測光方法についての国際規格 (CIE 127-2007) および国内規格 (JIS C 8152:2007) が正式に制定・発行され、測定の誤差が減少するとともに各社に於いても基準の維持も容易になりました。

弊社では、従来から標準 LED を用いて国家標準とトレーサビリティを確保・維持することにより測定機器の精度を管理しておりますが、今回の新規格のもとであらためて現在の国家標準との比較評価を行ったところ、古くからある一部 LED 品種について差異があることが判明しました。お客様には測定値の相関等を確認頂いているとは思いますが、この差異を放置しておくことは望ましくなく、弊社製品を今後ともご利用頂く上で返ってご不便をおかけすることになると考えます。

つきましては大変勝手ではございますが、対象の各品種については製品規格を改訂し国家標準と整合した値へと是正させて頂くことと致しました。なお、今回の変更は光度・放射束ランクの記載数値(仕様書、成績書、等)のみを変更するものであり、製品自体の変更や工程条件の変更を伴うものではありません。各お客様におかれましてはご不便ご面倒をおかけ致しますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

またこれら製品における国家標準との不整合は、製品開発当時の技術的な要因(製品の配光ばらつき、測定器の性能不足、測定方法の違い、等)に依るものです。現在は、測定方法を CIE/JIS に完全適合させるとともに、測定基準を弊社と産総研があらたに共同開発をした高精度の温度調整機能付標準 LED に置き換えることで、測定の正確性、信頼性、トレーサビリティは従来よりも格段に確かなものとなっております。

弊社では今後とも、国家標準との整合性をより確実なものとするために、測定環境やシステムの継続的な改善を図っていきますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

2008 年 11 月 4 日
日亜化学工業(株)